



海外出張報告 ~ブラジル・中南米編~ その2

情熱羅針盤
ジャパントラストかわら版

vol.107



左から、TOYODA KOKI DO BRASIL:Mr.DIEGO、
JTC:大和、TOYODA KOKI DO BRASIL:山本社長、
JTCブラジル代理店(Hraifa):Mr.MILTON

昨年末にブラジルへ出張をして参りました。今回は、その報告をさせていただきます。中南米向けの担当者という事で、この向け地の案件を一手に引き受けております。問い合わせ件数も日々増加傾向にあり、その方面の好調さを為るもの思い知らされる一方です。特に自動車部品関連や工作機械等の輸出が多く多方面から引き合いを頂いております。とはいえ、ブラジルについては、日本の本屋でもBRICsの凋落を書いた本を多く目の当たりするように、少し前の騒がれていた時期とは大きく変わり、一種の停滞ムードが漂う状況でした。どの人も口を揃えて先行きの不透明さについて嘆いていたことが、とても印象的でした。

感覚としては日本の今の世相に似る何かを感じました。訪問時期が丁度

大統領選挙の最中ということもあり、TVや新聞はその話題で持ちきりでした。肝心の結果は改革派ではなく、貧困層の支援を重視する保守派の勝利で終わり、ビジネスパーソンへは落胆が大きく広がっておりました。しかし、ブラジルは今後リオ五輪を控えております。南米最大の経済大国であり、その秘めたる可能性に商機を見出そうとする多くの外資系企業が挙って進出を続けていることもまた事実です。

さて、今回の出張では主に船社や主要工作機械メーカー、大手商社を弊社代表 菅と訪問してまいりました。その中で、大手工作機械メーカーの株式会社ジェイテクト (TOYODA KOKI DO BRASIL) を訪問した際に、弊社へご依頼頂きました貨物が到着する現場に偶然居合わせることが出来ました。(添付写真:ブルーシート貨物)

担当者として、地球の裏側で貴重な場面に遭遇出来たことを非常に喜ばしく思っております。そして、今回の訪問を通じて、より一層現地事情等の知識を蓄えることが出来ました。

ブラジルはじめ中南米向けの貨物のご相談がございましたら、何なりとお申しつけ下さい。



海外営業部 大和ダニロ

ジャパトラマンの初詣



平成27年1月5日。ジャパントラストの仕事始めです。朝礼後、氏社的那古野神社へ、皆で初詣に行きました。皆でそろえて拍手を打つのはとても気持ちのいいもので背筋が伸びる思いでした。

この拍手のように本年もジャパントラスト一同一致団結して、海運業界の大海原を超えていきたいと思っております。

経理 石原あい

